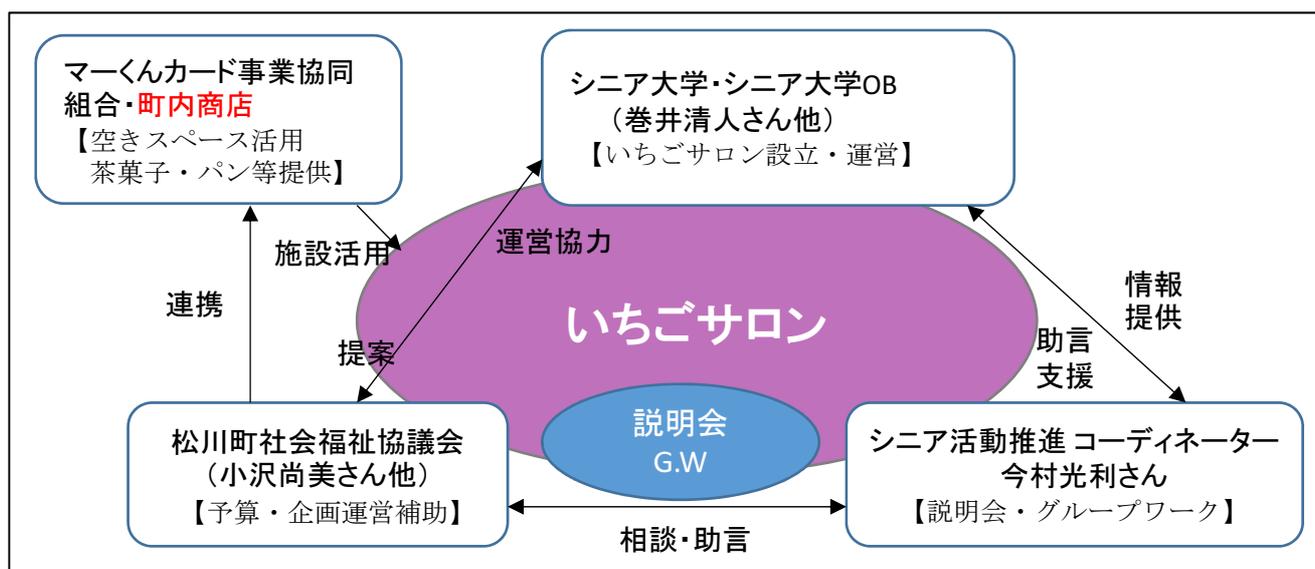


テーマ①: 多世代にわたる居場所づくり

取組概要	町民の要望を踏まえ、誰もが集まれるサロンを開設したいという松川町社協の呼びかけに、シニア世代のボランティアが集まり、グループワークや準備会議でのアイデア出し、内容の検討を経て、30年6月15日にオープン。
発表者	<ul style="list-style-type: none"> ・松川町社会福祉協議会 小沢尚美さん ・運営ボランティア 巻井清人さん(シニア大学OB) ・シニア活動推進コーディネーター 今村光利さん



1 取組の背景

- 町内にある約30箇所のサロンは自治会加入の人しか利用できない。
- 自治会未加入の人の居場所が無い。
- 松川町社協はサロンの立上げを検討しているが、手法が分からない



- ・ 商店街のフリースペースを活用して、誰でも利用できるサロンは作れないか社協から提案。
- ・ 事例集「人生ニモウサク劇場」掲載の「まちかどサロン喫茶室」を視察し参考とした。

2 取組を進める上での課題・対応

- 会場の確保 ⇒ マーくんカード事業協同組合「まつかわすたいるプラザ・ぷらっと」活用
- 運営資金の確保 ⇒ 社協事業として予算化
- 担い手の確保 ⇒ 説明会を通じて、シニア大OBに働きかけ。グループワークによる企画を通じた意識づくり

3 取組の経過

- H30年3月 サロン開設に向けた説明会の実施
- H30年4月 第1回サロン準備会(実店舗を視察し、実施内容の検討)
- H30年5月 第2回サロン準備会(実施内容、スタッフ等の決定)
- H30年6月 「いちごサロン」開設
- H30年7月 第2回「いちごサロン」開催
保健師による健康相談を実施
- H30年8月 第3回「いちごサロン」開催
延寿院の伊佐さんによる布絵作品の展示を実施
- H30年9月 第4回「いちごサロン」開催
シニア大と連携したマジックショーの開催
- H30年10月 第5回「いちごサロン」開催
シニア大と連携したオカリナ演奏、
マジックショー、脳トレ教室を実施
10/24 しあわせ信州移動知事室視察
- H30年11月 第6回「いちごサロン」開催
栄養士による健康相談を実施
- H30年12月 第7回「いちごサロン」開催
クリスマスコンサート 地元のシニア演奏家によるサクソ演奏



4 成果

- 不特定の地域住民が定期的集える空間ができ、高齢者や障がい者のみならず、子育て中の親子など幅広い交流が図られている。
サロン利用者 約20～30人/日
- 説明会・GWを行ない企画段階から参画することで、シニアが負担感なくスムーズに運営に関われるようになった。
サロンの運営に参画するシニア 8人
- 近隣町村からの立ち寄りもあり、他地域との交流にも広がった。

5 今後の課題

- 来場者が徐々に増え、未就園児を連れた母子の参加者があるので、より多くの方が楽しめるような企画(イベントなど)を工夫したい。
- (参加者が増え)スタッフの負担が大きくなるように継続してスタッフを確保していきたい。